

洪水被害犠牲者ゼロをめざして

(摂津市：香和自治会)



訓練の流れ

- ①まかせて会員が4人1組で、おねがい会員(1人での避難が難しい)の自宅まで迎えに行く
- ②車イスに乗せて、緊急一時避難場所まで移動
- ③まかせて会員4人で車イスを持ち上げて、おねがい会員を3階まで避難

○特徴的な取組内容

●目的

摂津市において「地域から水害による犠牲者を一人も出さない」ことを目的に香和自治会において、地域版の防災マップ作りに取り組んできた。

●主な活動

- ①平成27年8月 キックオフ会議(近年の災害を踏まえ地域防災のあり方について)
- ②同年10月 第1回ワークショップ(地域内の建物所有者に緊急一時避難所として、洪水災害時に建物の利用について協力要請)
- ③同年12月 第2回ワークショップ(自治会にお住まいの高齢者や身体の不自由な方、小さなお子さんがいる方など、避難の支援を希望する方(おねがい会員)と避難の手助けに協力していただける方(まかせて会員)を把握し、災害時要援護者の支援方法について検討)
- ④平成28年1月 第3回ワークショップ(地域の緊急避難体制について検討)
- ⑤同年3月 香和自治会版防災マップ完成

※(NHK ニュース(関西)で「高齢者を上の階に浸水避難訓練」で放送。【2019年1月20日】

●活動の成果

- ①地域住民の洪水災害に対する認識の高まり。
- ②避難場所を地域で選定することにより迅速な避難行動につながる。
- ③地域の避難場所確保への取組みに対する建物所有者の方々の理解。
- ④地域で支え合う「お願い会員」「まかせて会員」募集活動への賛同と共助の輪の広がり。

●課題と今後の取組方針

- ①「おねがい会員」「まかせて会員」の組織編制(マッチング)が困難。
- ②「住民自らの判断で避難行動をとる」ことを目的に、自治会で企画運営等の実施など行政に頼らない訓練を実施。
- ③若者・女性・子どもなど幅広い層の訓練参加の必要性。
- ④自治会単位からより小さいコミュニティによる継続した訓練の実施。

摂津市香和自治会

結成:昭和46年

規模:世帯数約500世帯

問い合わせ:摂津市防災管財課